



雪印メグミルク

CONTENTS

■ 社長ごあいさつ	P1
■ 2019年度(2020年3月期)の取組み	P2
■ 春・夏の新商品・改良品	P3
■ CSRについて	P5
■ TOPICS	P6
■ 財務状況	P7
■ セグメント別業績の概況	P9
■ 会社概要・株式の状況	P10

証券コード：2270

雪印メグミルク株式会社
MEGMILK SNOW BRAND Co.,Ltd.

株 主 通 信

第10期 2018年4月1日から2019年3月31日まで



株主の皆様には日頃より多大なご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

わが国経済は、景気は緩やかに回復しておりますが、食品業界では、人手不足を背景とした物流コストや人件費の増加に加え、原材料コストの上昇などを価格に転嫁する動きが見られます。

乳業界においては、2018年度(2019年3月期)のチーズ向け原料乳価格の引き上げを含む大幅なコストアップへの対応や、消費者の節約の動きの強まりなど厳しい環境が続いております。そうした中、消費者の価値観は多様化し、様々な需要に対応する商品や市場が新たに生まれております。

このような経営環境のもと、当社グループは「グループ中期経営計画2019」に基づき、収益基盤の複数化およびキャッシュ・フローの最大化に取り組みました。

機能性ヨーグルトなどの高付加価値商品およびチーズなどの主力商品の販売拡大に伴うプロダクトミックスの改善、ならびにニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模の拡大など、将来の成長に向けた収益基盤の強化などに努めました。しかしながら、競争環境が厳しい中で一部商品の販売が伸び悩んだこと、コストアップへの対応が十分な効果を生み出せなかったことなどから減益となりました。

以上の結果、連結経営成績は、売上高603,378百万

円(前期比1.2%増)、営業利益17,230百万円(前期比11.0%減)、経常利益19,014百万円(前期比9.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、10,754百万円(前期比19.7%減)と増収減益になりました。

2019年度(2020年3月期)は、原料乳価格や諸コストが引き続き増加しております。これらに対応するため、家庭用市乳商品の一部について価格改定を実施するなど対応してまいります。また、中長期的な利益成長の柱とするため、チーズやヨーグルトをはじめとする重点カテゴリへの取組み強化、海外およびニュートリション事業の拡大など事業ポートフォリオの変革に取り組みます。

なお、2018年度の配当は1株当たり40円といたしました。2019年度の配当も1株当たり40円を予定しています。

役職員一同、引き続き、コンプライアンスと品質管理の徹底を図り、CSR経営を積極的に推進し、「ミルク未来創造企業」の実現に向けて取り組んでまいります。

今後とも、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
西尾 啓治

2019年度(2020年3月期)の取組み



バター、油脂、チーズ(国内・海外)

乳製品事業

チーズ: 家庭用チーズの主力品の販売拡大

「6Pチーズ」、カマンベールチーズ、「さけるチーズ」については食べ方提案や店頭プロモーションによる販売を継続し、スライスチーズ、ベビーチーズについては増量キャンペーン、新商品の導入により販売強化に取り組めます。

チーズ: 海外展開の推進

雪印メグミルクインドネシア株式会社(MSBI)とアダーデライツオーストラリア有限会社の連結子会社化、また、MSBIからシンガポールやタイ、マレーシアへの輸出拡大に取り組めます。



雪印メグミルク
インドネシア外観



アダーデライツ
オーストラリア
ロベサール工場



シンガポール・
タイ・マレーシア

雪印メグミルクインドネシア
による第三国輸出



牛乳・乳飲料、ヨーグルト、果汁・野菜・
清涼飲料、デザート

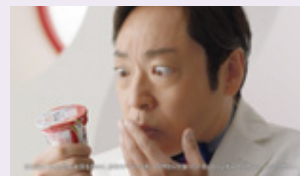
市乳事業

ヨーグルト: 「ガセリ菌SP株ヨーグルト」商品群の 販売拡大

甘くないプレーンタイプの個食、「生乳仕立てプレーン」を3月に発売しました。そして、香川照之さんを起用したCMを放映し、販売をさらに伸ばしていきます。



「ガセリ菌SP株ヨーグルト」商品群



香川照之さんを起用したCM

事業全体: 価格改定の実施

原料乳価格の引き上げに加え、物流コストや労務費なども上昇しており、これらのコスト増を吸収すべく努めてまいりましたが、企業努力による吸収の範囲を超えるものであることから、4月1日出荷分より、牛乳類など合計79品で価格改定を実施しました。

デザート: 個食デザートラインナップの強化



粉乳(国内・海外)、機能性食品など

ニュートリション事業

機能性食品: ラインナップを強化したロコモ(骨・ 筋肉・関節)関連商品での販売拡大

拡大するシニア向けロコモ市場において、「毎日骨ケア MBP®」をはじめとするラインナップを充実させ、さらなる販売増を目指します。また、昨年、子会社化した株式会社ベルネージュダイレクトとの連携を強化し、機能性食品のさらなる販売拡大を目指します。



飼料、種子(牧草・飼料作物・野菜)、環境緑化など

飼料・種苗事業

飼料: 合併会社「ホクレンくみあい・雪印飼料 株式会社」設立と新工場建設

新工場の2021年度稼働に向け取組みを進め、合併によるスケールメリットと最新鋭の製造設備を活かした、高品質で低コストの配合飼料提供を目指します。

種苗: 自社開発商品による販売拡大

春・夏の新商品・改良品

NEW

『ミルクィ ソフト キャラメル味』

不二家「ミルクィ」とキャラメルのおいしさをパンにぬって楽しめるパンस्पレッドです。



ミルクィ ソフト
キャラメル味
140g

©2019 FUJIYA CO., LTD.

NEW

『モッツアレラ入りベビーチーズ』

マイルドでミルクィなモッツアレラチーズ入りのチーズです。



モッツアレラ入り
ベビーチーズ
48g

RENEWAL

『ビーンスタークすこやかM1』

グループ会社の雪印ビーンスターク株式会社が、雪印メグミルクと共同で実施している「全国母乳調査」から、最新の研究成果を活かした、新しい育児用粉ミルクです。2019年7月発売です。



ビーンスターク
すこやかM1
800g

NEW

『グルコサミン&コンドロイチン』

軟骨の構成成分を補給できる、活動的な毎日をサポートする通販限定商品です。



グルコサミン&コンドロイチン
180粒(1日6粒、30日分)

海外事業について

香港向け育児用粉ミルク「思敏兒」「思敏傑」発売

雪印メグミルクグループは、香港市場において育児用粉ミルクを展開しており、2018年秋に新商品を発売しました。本品は母乳研究を基礎として商品開発を行ない、赤ちゃんの「脳、神経系の発達」「消化管の健康」「感染防御」に役立つ素材を配合し、すこやかな成長につなげる粉ミルクとしてご提案しています。



「さけるチーズ」を使用した簡単レシピが話題に!

2019年1月末に料理研究家の方がTwitterに投稿した、カルビー株式会社の「じゃがりこ」と「さけるチーズ」を使用してお湯を入れて混ぜるだけでつくることができるアリゴ※に似た創作料理は大きな反響で、同社の「じゃがりこ」も当社「さけるチーズ」も需要が急増しました。



雪印北海道100 さけるチーズ
プレーン 50g(2本入り)

※アリゴ
フランスの郷土料理でじゃがいもをベースに、チーズを混ぜ合わせてつくる。粘度が高く、非常によく伸びるのが特徴。

NEW

『**恵 megumi ガセリ菌SP株
ヨーグルト 生乳仕立てプレーン**』

砂糖・甘味料不使用で甘くない生乳仕立てのプレーンヨーグルトで、「ガセリ菌SP株が内臓脂肪を減らす」をパッケージに表示した機能性表示食品です。

恵 megumi ガセリ菌SP株
ヨーグルト 生乳仕立てプレーン
100g



NEW

『**プルーンFe 1日分の鉄分ヨーグルト**』

『プルーンFe 1日分の鉄分』シリーズに「食べるタイプ」を新たにラインナップしました。不足しがちな鉄分を、1日分おいしく補給できるヨーグルトです。

プルーンFe
1日分の鉄分ヨーグルト
100g



NEW

『**Dole® Handy Charge Berry Mix**』
『**Dole® Handy Charge Lemon Mix**』

パソコン作業が多いオフィスワーカーをターゲットとした機能性表示食品の飲料です。

Dole®
Handy Charge
Berry Mix
180g



Dole®
Handy Charge
Lemon Mix
180g



NEW

『**重ねドルチェ caffè&ブランマンジェ**』
『**重ねドルチェ fruttaピーチ!**』

4層のハーモニーで彩り豊かなおいしさをお届けする、多層スイーツです。

重ねドルチェ
caffè
caffè&ブランマンジェ
120g



重ねドルチェ
フルッタ
fruttaピーチ!
120g



『ガセリ菌SP株』の研究とそれを応用した商品開発について、2018年度『飯島藤十郎食品技術賞』を受賞しました。

雪印メグミルク保有のプロバイオティクス乳酸菌「ガセリ菌SP株」の研究とそれを応用した商品開発について、公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団より、『飯島藤十郎食品技術賞』を受賞しました。

受賞の主な内容

- (1)「ガセリ菌SP株」に内臓脂肪蓄積抑制作用を見出し、ヒト試験において「ガセリ菌SP株」を含む発酵乳の摂取により、内臓脂肪面積が有意に低下することを実証した。
- (2)ヒト試験にて、「ガセリ菌SP株」を含む発酵乳の摂取が、インフルエンザウイルスに対する特異的な抗体産生を促進するなど、「ガセリ菌SP株」が免疫機能を亢進することを示した。



受賞式にて技術賞の賞牌を受け取る門岡上席研究員(写真右)

飯島藤十郎賞について

「食品科学、特に米麦その他主要食糧を原料とする食品の素材、加工技術、品質、安全性、栄養、機能その他に関する学術上の研究及び食品の技術開発に優れた業績が認められる活躍中の研究者又は研究グループ」が受賞対象であり、『食品科学賞』と『食品技術賞』があります。『食品技術賞』は、食品の技術開発において優れた業績をあげた研究者又は研究グループに授与されます。

環境負荷低減に向けた取組み

当社大樹工場では、2018年12月中旬に新排水処理設備へ全面的な切替を実施しました。

新設備の処理能力は6,000m³/日に上昇しました。なお、処理方式として流動担体前処理※1と活性汚泥法※2を採用し、安定した運転が可能となりました。また、放流水質の常時監視も可能となり、より一層の省エネと脱水汚泥の削減が期待されています。



排水処理設備(大樹工場)

※1 微生物処理する処理槽に多数設置した担体(接触材)に微生物を付着させ、微生物が作る生物膜の面積を拡大させることで、排水処理能力をあげることに。

※2 排水に空気を吹き込んで、排水中の有機物を高濃度の微生物(活性汚泥)で処理し、きれいな水にすること。

2019雪印メグミルク杯ジュニアジャンプ下川大会を開催しました

2019年1月14日に北海道下川町にて1回目となる「2019雪印メグミルク杯ジュニアジャンプ下川大会」を開催しました。同大会は雪印メグミルク杯の冠大会としては、ジュニアサマーjump大会、全日本ジャンプ大会に次ぐ、3番目の大会となります。

同大会は、ジュニア選手の育成を目的として新規に開催しました。当日は、下川、名寄、旭川、札幌、余市など道内各地から、総勢60名もの小・中学生が参加し、気温マイナス20℃の中、力強いジャンプを行ない会場を盛り上げました。



下川スキー場ジャンプ台



下川町風景

雪印メグミルクスキー部活動報告

2018-2019シーズンの主な活躍を紹介します!



主な大会結果

- 10/28 第97回全日本スキー選手権大会兼SBC杯スペシャルジャンプ大会
優勝: 伊東大貴選手・3位: 佐藤慧一選手
- 12/15 第49回名寄ピヤシリジャンプ大会兼第56回北海道新聞社杯ジャンプ大会
優勝: 佐藤慧一選手
- 1/14 第61回HBCカップジャンプ競技会
優勝: 佐藤慧一選手・3位: 原田侑武選手
- 3/2 札幌スキー連盟会長杯ジャンプ大会兼第30回TVh杯ジャンプ大会
優勝: 佐藤慧一選手・2位: 原田侑武選手 3位: 柝本翔平選手
- 3/8 第90回宮様スキー大会国際競技会
ノーマルヒル優勝: 佐藤慧一選手、2位: 清水礼留飛選手
- 3/10 第90回宮様スキー大会国際競技会
ラージヒル優勝: 原田侑武選手
- 3/23 第20回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会
優勝: 原田侑武選手・2位: 清水礼留飛選手



清水礼留飛選手、佐藤慧一選手



原田侑武選手

大会ピックアップ

- 1/5 第60回雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会
2位: 佐藤慧一選手

今年で60回目を迎えた雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会が札幌宮の森ジャンプ競技場で開催されました。あいにくの悪天候でしたが、当社従業員応援団は最後まで熱い声援を送り続けました。

- 2/24 FISノルディックスキー世界選手権大会団体戦
銅メダル: チームジャパン

オーストリアのゼーフェルトにて開催された団体戦ラージヒルで、佐藤幸椰選手・伊東大貴選手・小林潤志郎選手を含むチームジャパンが見事銅メダルを獲得しました! 世界選手権の同種目での表彰台は2009年リベツ(チェコ)大会以来10年ぶりとなりました。



佐藤幸椰選手(左)・伊東大貴選手(中央)・小林潤志郎選手(右)

大樹町「J-クレジット購入証明書」が 授与されました

2018年11月北海道大樹町の晩成温泉木質チップボイラーにより削減されるCO₂に関する「J-クレジット」を購入しました。北海道中標津町町有林の「J-クレジット」に続き環境保全に協力していきます。

平成30年度 新宿区 ワーク・ライフ・バランス 推進優良企業に認定、表彰されました

受賞にあたっては、男性の育休取得率の高さや保有有給休暇制度、フレックス制度、在宅勤務制度などが充実していることが高く評価されました。

活躍する名城大学女子駅伝部とMBP®

2018年10月28日に開催された「第36回社の都全日本大学女子駅伝」で、名城大学が2017年に続き2年連続3度目の優勝を達成しました。同駅伝部には、2015年度の実績共同研究実施以降、当社商品である、『毎日骨ケア MBP®』、『毎日一粒 MBP®』を提供しています。



ゴールする名城大学アンカーの青木主将(2018年10月当時)

酪農と乳の歴史館「『カツゲン』祭り2019」を開催

発売から60年以上、北海道のソルフードとして親しまれている当社乳酸菌飲料『カツゲン』にちなんで催しである「『カツゲン』祭り2019」を、当社酪農と乳の歴史館(北海道)にて開催しました。会場は子供向けのゲームや新商品試飲コーナーなど盛りだくさんの楽しいイベントがあり、約200名のお客様にご来館いただきました。また、当社SNSキャラクター「コップ牛の未来(ミク)」との撮影会や、歴代の『カツゲン』パッケージの展示、館内を特別開放しての自由見学なども行ないました。

「勝源社」の前で
ミクちゃんと記念撮影



グループ会社 いばらく乳業株式会社を紹介します

いばらく乳業株式会社は、1959年1月に雪印乳業株式会社、水戸酪農業協同組合、茨城中央開拓酪農業協同組合の出資により「茨城雪印牛乳株式会社」として設立され現在に至っています。その間2002年4月に現在の社名である「いばらく乳業株式会社」となりました。

「いばら」は伝統ある常陸の国、茨(いばら)城を表し、「らく」については酪(らく)農に根ざし、従業員には楽(らく)しい雰囲気職場環境を、お客様には楽(らく)しみを味わえる商品を提供し、県の洛(らく)都である水戸市を所在地とする乳業メーカーであることをイメージしています。



いばらく乳業外観

商品紹介

いばらく乳業のメインブランド牛乳として「常陸の郷牛乳」を2018年秋に発売しました。茨城県はかつて「常陸の国」と呼ばれ、自然豊かな環境の茨城県産生乳を100%使用した牛乳です。



常陸の郷牛乳
1000ml、500ml、200ml



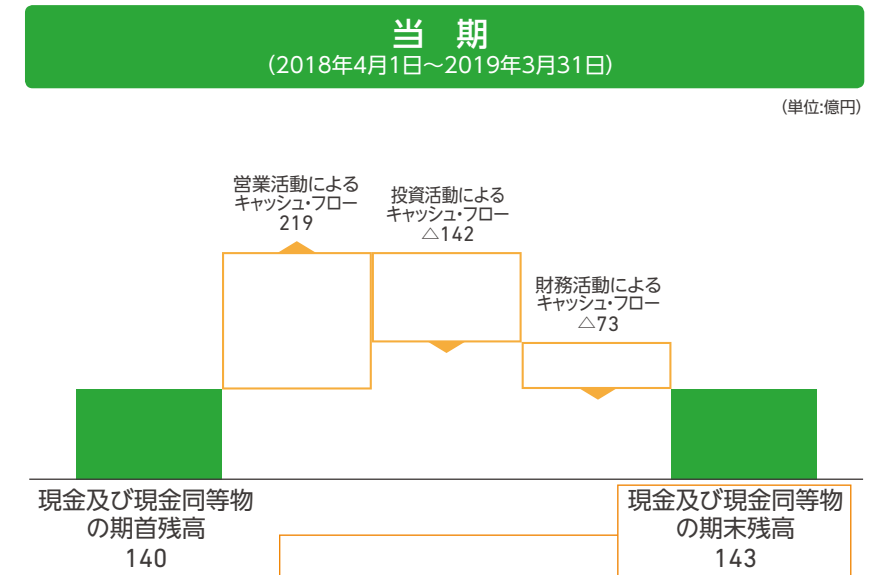
茨城県内で生産された生乳を100%使用した牛乳、および茨城県内の乳業メーカーが加工した乳製品を認証する新しいマークが「常陸の郷牛乳」のパッケージに印刷されています。

財務状況

連結貸借対照表の概要

前期末 (2018年3月31日)		当期末 (2019年3月31日)		前期末 (2018年3月31日)		当期末 (2019年3月31日)	
(単位:億円)				(単位:億円)			
現金及び預金 146	流動資産 1,421	現金及び預金 143	流動負債 1,179	短期借入金 418	流動負債 1,406	短期借入金 199	流動負債 1,179
受取手形及び 売掛金 693		受取手形及び 売掛金 747		長期借入金 270		固定負債 532	
たな卸資産 539		固定資産 2,091		たな卸資産 556	固定負債 727	長期借入金 358	株主資本 1,491
有形固定資産 1,647	固定資産 2,105	有形固定資産 1,623	純資産 1,687	株主資本 1,411	純資産 1,573	株主資本 1,491	純資産 1,687
無形固定資産 39		無形固定資産 32		その他の包括 利益累計額 138		その他の包括 利益累計額 171	
投資 その他の資産 403		投資 その他の資産 450					
資産合計 3,512		資産合計 3,594		負債・純資産合計 3,512		負債・純資産合計 3,594	

連結キャッシュ・フロー計算書の概要



ポイント 資産

総資産は、前期末と比較して82億円の増加となりました。

流動資産: 67億円増加

受取手形及び売掛金 +54億円
現金及び預金 △2億円
たな卸資産 +17億円

固定資産: 14億円増加

有形固定資産 △ 24億円
無形固定資産 △ 7億円
投資その他の資産 +46億円

ポイント 負債・純資産

負債は、前期末と比較して32億円の減少となりました。

流動負債: 227億円減少

短期借入金 △218億円

固定負債: 195億円増加

社債 +100億円
長期借入金 +87億円

純資産は、前期末と比較して114億円の増加となりました。

株主資本: 79億円増加

その他の包括利益累計額: 32億円増加
自己資本比率は、前期末と比較して2.2ポイント改善し、46.3%となりました。

ポイント 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フロー: 219億円の収入

税金等調整前当期純利益 +152億円 減価償却費 +159億円
仕入債務の増減額 △3億円 売上債権の増減額 △55億円
法人税等の支払額 △41億円 たな卸資産の増減額 △21億円

投資活動によるキャッシュ・フロー: 142億円の支出

有形及び無形固定資産の取得による支出 △158億円

財務活動によるキャッシュ・フロー: 73億円の支出

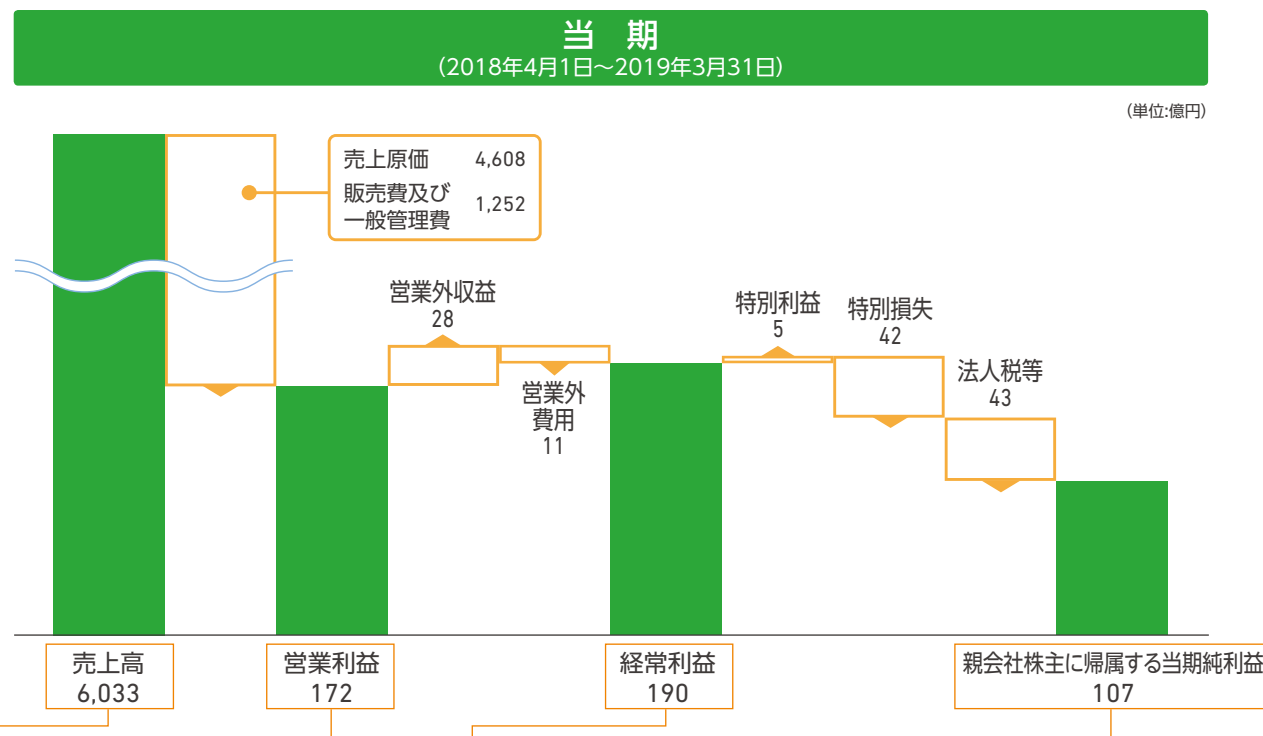
短期借入金の純増減額 △30億円 長期借入金の返済による支出 △220億円
社債の発行による収入 +99億円 長期借入れによる収入 +119億円

当期は、雪印メグミルクとしては初めて社債を発行し、99億円の収入がありました。また、期首に140億円であった現金及び現金同等物の残高は、当期末では143億円となりました。

連結損益計算書の概要

(単位:億円)

(単位:億円)	前期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	当期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)	増減額	来期予想 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)
売上高	5,961	6,033	72	6,150
営業利益	193	172	△21	180
経常利益	209	190	△19	195
親会社株主に 帰属する 当期純利益	133	107	△26	120



ポイント 売上高

ヨーグルト、機能性食品の販売が好調に推移するなど、前期と比較して72億円の増収となりました。

▶ 9ページでセグメント別にご説明しています

営業利益

営業利益は172億円となりました。増益要因はチーズの価格改定等による販売単価差が35億円、機能性ヨーグルトの販売伸長などによる製品構成差が8億円など、合計で46億円の利益増となりました。一方、減益要因は、オペレーションコスト(物流コスト、エネルギー費用等)の増加による利益減が20億円、チーズの価格改定の影響等による販売物量減少に伴う利益減が17億円、減価償却費・労務費等固定経費の増加による利益減が16億円など、合計で67億円の利益減となりました。結果として、前期と比較して21億円の減益となりました。

ポイント 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益は、持分法による投資利益の増加および支払利息の減少などで営業利益よりも減益幅が縮小しました。

経常利益の19億円の減益に対して、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期と比較して26億円の

減益となりました。前期と比較して特別利益が3億円増加、災害による損失や減損損失の増加などで特別損失が21億円増加、法人税等が13億円減少したことが主な原因です。

セグメント別業績の概況

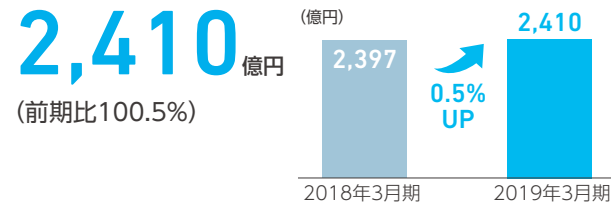
乳製品

バター、油脂、チーズ
ニュートリション事業(粉ミルク、機能性食品等) ほか



売上高構成比 **40%**

売上高



営業利益



売上高は、バターは安定供給に引き続き取り組みました。油脂は市場低迷の影響もあり減収となりました。チーズは家庭用チーズでコストアップへ対応するため価格改定・容量変更を行っていましたが、減少した商品もあり減収となりました。機能性食品はマーケティング投資の継続により伸長しました。これらの結果、当セグメント全体では微増収となりました。営業利益は、価格改定・容量変更による販売単価差が増収要因としてあったものの、チーズ向け乳価改定の影響等による原材料コストの増加や、物流コストの増加などから減益となりました。

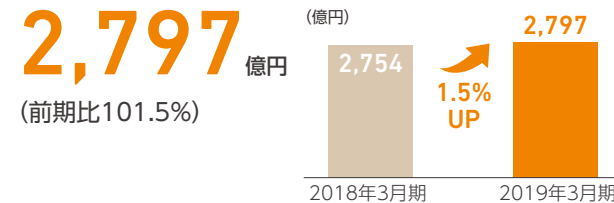
飲料・デザート類

牛乳・乳飲料、ヨーグルト、果汁・野菜・清涼飲料、デザート ほか

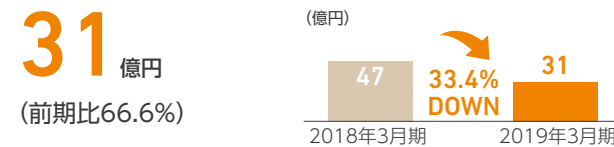


売上高構成比 **46%**

売上高



営業利益



売上高は、飲料は市場低迷の影響もあり減収となりました。ヨーグルトは当社保有の乳酸菌「ガセリ菌SP株」の機能訴求のためのプロモーション活動を強化したことなどから好調に推移しました。デザートは新商品およびリニューアル品が牽引したことなどから堅調に推移しました。これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。営業利益は、機能性ヨーグルトの販売は拡大したものの、物流コストの増加や減価償却費などの固定経費等の増加の影響が大きく、大幅な減益となりました。

飼料・種苗

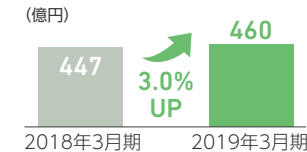
牛用飼料、牧草・飼料作物
種子、野菜種子 ほか



売上高構成比 **8%**

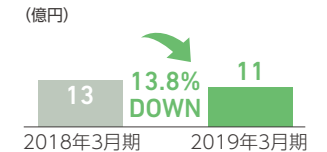
売上高

460 億円 (前期比103.0%)



営業利益

11 億円 (前期比86.2%)



売上高は、配合飼料の販売価格上昇等により当セグメント全体では増収となりました。営業利益は牧草・飼料作物種子の売上減少や配合飼料の販売物量減少、原価上昇の影響等により減益となりました。

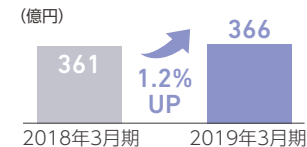
その他

共同配送センター事業、不動産賃貸事業 ほか

売上高構成比 **6%**

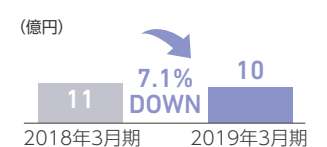
売上高

366 億円 (前期比101.2%)



営業利益

10 億円 (前期比92.9%)



会社概要・株式の状況

会社概要 2019年3月31日現在

商号 雪印メグミルク株式会社
 事業内容 牛乳、乳製品および食品の製造・販売等
 本店所在地 (本社)
 東京都新宿区四谷本塩町5番1号
 (登記上本店)
 北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
 設立年月日 2009年10月1日
 資本金 200億円
 決算期 3月31日
 従業員数 5,105名(連結)

経営体制 2019年6月26日現在

代表取締役社長 西尾啓治
 代表取締役副社長 西馬場茂
 代表取締役副社長 本井秀樹
 取締役専務執行役員 幸坂眞也
 取締役専務執行役員 土岡英明
 取締役(社外) 阿南久
 取締役監査等委員 千葉忍
 取締役監査等委員(社外) 西川郁生
 取締役監査等委員(社外) 服部明人
 専務執行役員 城端克行
 常務執行役員 小板橋正人
 常務執行役員 池浦靖夫
 常務執行役員 内田彰彦
 常務執行役員 板橋登志雄
 常務執行役員 末安亮一
 常務執行役員 川崎功博
 常務執行役員 大貝浩平
 常務執行役員 渡辺滋
 常務執行役員 中島隆男
 常務執行役員 保倉一雄
 常務執行役員 倉持裕司
 執行役員 柴田貴宏
 執行役員 芹澤篤

株式の状況 2019年3月31日現在

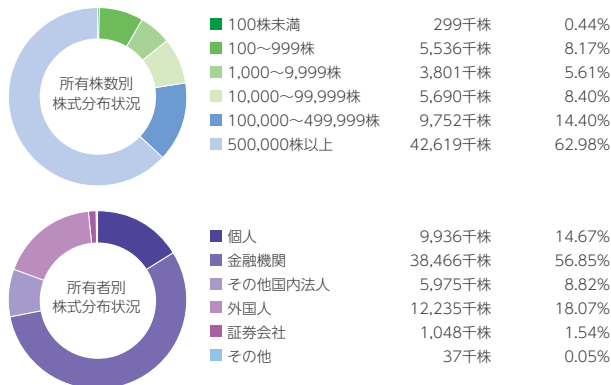
発行可能株式総数.....280,000,000株
 発行済株式の総数.....70,751,855株
 株主数.....44,512名

大株主(上位10位) 2019年3月31日現在

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
全国農業協同組合連合会	9,237	13.64
農林中央金庫	6,728	9.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・伊藤忠商事株式会社退職給付信託口)	3,703	5.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,188	4.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,027	4.47
雪印メグミルク従業員持株会	1,108	1.63
株式会社三菱UFJ銀行	1,083	1.59
ホクレン農業協同組合連合会	1,074	1.58
GOVERNMENT OF NORWAY	1,037	1.53
全国酪農業協同組合連合会	1,008	1.48

(注1) 株主数は、千株未満を切り捨て表示しています。
 (注2) 当社は、自己株式3,051,487株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 2019年3月31日現在



(注1) 株主数は、千株未満を切り捨て表示しています。
 (注2) 当社は、自己株式3,051,487株を保有しておりますが、上記からは控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 毎年3月31日
 (当社は中間配当制度を採用しておりません)
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 公告方法 電子公告により行ない、その公告は、当社ホームページの下記アドレスに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<http://www.meg-snow.com/ir/notification/>
 上場取引所 東京および札幌

株式の手続きに関するお問合せ先・郵便物送付先

当社株式を証券会社等の口座でお持ちの場合

お取引の証券会社等になります。
 ただし、配当金の支払明細の発行および未払配当金の支払いにつきましては、みずほ信託銀行株式会社証券代行部で承ります。連絡先は下記をご参照ください。

当社株式を証券会社等の口座でお持ちでない場合(特別口座の場合)

みずほ信託銀行株式会社証券代行部になります。連絡先は下記をご参照ください。
 取次所 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
 みずほ証券株式会社
 本店、全国各支店およびプラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
 このほか、未払配当金の支払いは、みずほ銀行株式会社本店および全国各支店でもお取次ぎいたします。

株主名簿管理人(特別口座管理機関)の連絡先

〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社証券代行部
 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
 受付時間 9:00~17:00(土、日、休日を除く)

株主総会決議ご通知

2019年6月26日開催の当社第10回定時株主総会において、下記のとおり報告および決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

第10期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)事業報告、連結計算書類および計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告、連結計算書類および計算書類の内容ならびにその監査結果を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。) 6名選任の件

本件は、原案どおり、西尾啓治氏、西馬場茂氏、本井秀樹氏、幸坂眞也氏、土岡英明氏および阿南久氏が選任され、就任いたしました。

第2号議案 補欠の監査等委員である取締役2名選任の件

本件は、原案どおり、大森節也氏および真鍋朝彦氏が選任されました。
なお、大森節也氏は監査等委員である取締役 千葉忍氏の、また真鍋朝彦氏は監査等委員である取締役 西川郁生氏および服部明人氏の補欠であります。

以上

雪印メグミルクのお料理レシピ

牛乳とスライスチーズで簡単チーズソース!



調理時間
15分

夏野菜のチーズソースパスタ

材料(2人分)

スライスチーズ(7枚入り).....3枚
雪印メグミルク牛乳.....300ml
スパゲッティ.....160g
ツナ缶詰(油漬け).....1缶(70g)
かぼちゃ.....正味100g
ズッキーニ.....1/2本
パプリカ(赤).....1/3個
しめじ.....50g
オリーブ油.....適量
塩・こしょう.....各少々
雪印北海道100 粉チーズ芳醇.....大さじ2



スライスチーズ
(7枚入り) 126g



雪印メグミルク
牛乳
1000ml



雪印北海道100
粉チーズ芳醇
80g

- 作り方
- 1) スパゲッティは袋の表示通りに茹でる。
 - 2) かぼちゃ、ズッキーニ、パプリカはひと口大に切る。しめじは小房に分ける。
 - 3) フライパンにオリーブ油を熱し、かぼちゃを炒め、火が通ったらしめじ、ズッキーニ、パプリカを加え軽く塩をふる。
 - 4) 3)にツナと牛乳を入れ、温まったらスライスチーズをちぎりながら加えて溶かす。
 - 5) 湯をきった1)を4)に入れてからめ、塩、こしょうで味をととのえる。器に盛り、粉チーズをかける。

※大さじ1は15mlです。

※他にも、当社商品を使ったレシピが当社ホームページに多数掲載されています。

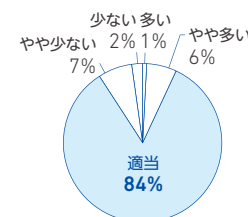
雪印メグミルクのお料理レシピ 検索



株主様アンケート結果のご報告

第10期中間株主通信「株主様アンケート」に多くの株主様にお答えいただきありがとうございました。寄せられたお声をご紹介します。

Q 第10期中間株主通信の情報量はいかがでしたか



Q 第10期中間株主通信で興味をもった記事は?(3つまで)上位5つ

秋の新商品・改良品	55.5%
2018年度の取組み(進捗)	31.7%
財務状況	28.7%
セグメント別業績の概況	25.0%
雪印メグミルクのお料理レシピ	23.8%

約8割の方が「適当」とお答えいただいています。

新商品の紹介、裏表紙のお料理レシピにもご興味を持っていただきました。

Q 投資先を検討する際に参考にする情報源(3つまで)上位5つ

新聞	35.8%
一般的なウェブサイト	35.2%
当社ウェブサイト	16.7%
証券会社からの情報提供	8.6%
その他	3.7%

Q 当社株式の購入理由を教えてください(3つまで)上位5つ

安定性	34.8%
将来性	33.5%
知名度	27.4%
当社商品のファン	27.4%
事業の内容	26.2%

もっとも多い回答は「新聞」ですが、ウェブ媒体の比率も上昇してきました。

「安定性」、「将来性」が上位に入りました。

これからも皆様に喜ばれる商品を作ってまいります。

雪印メグミルク株式会社



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。